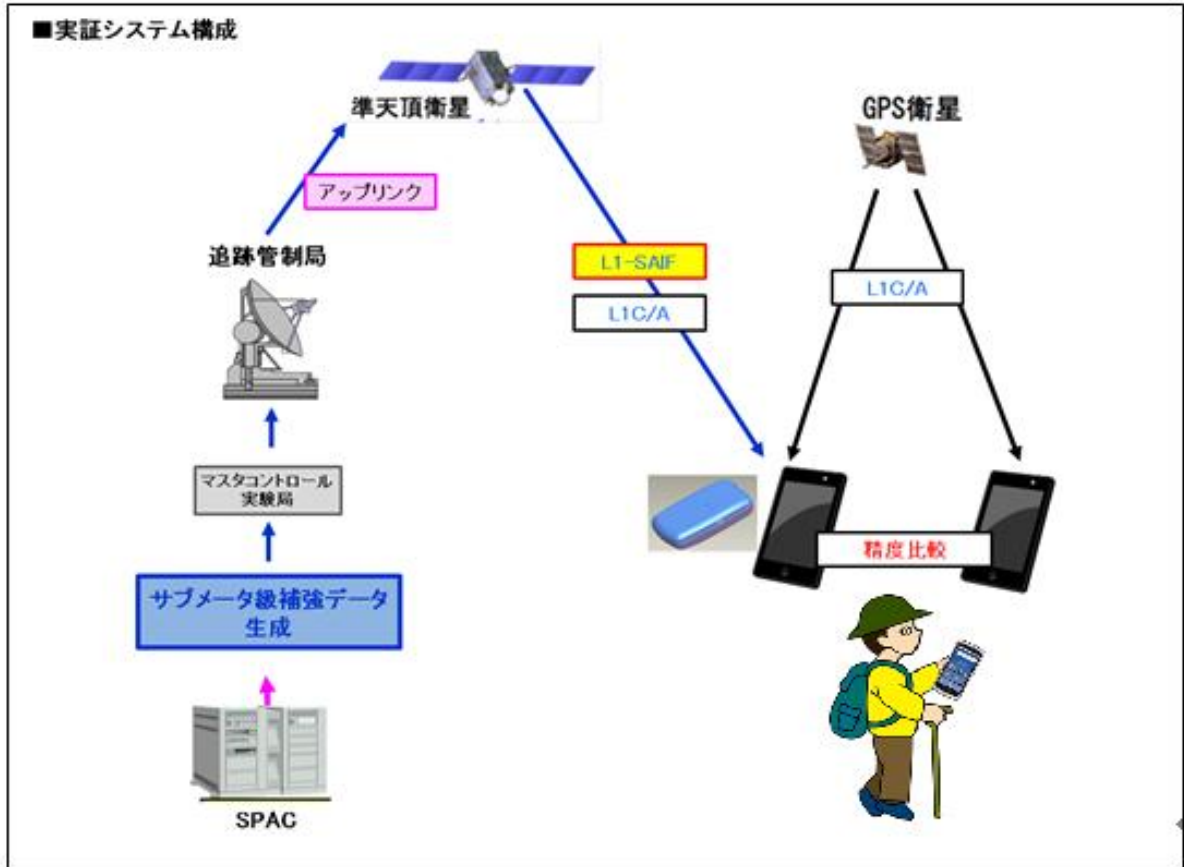


□利用実証提案書
■利用実証計画書

平成 27 年 1 月 28 日 Ver.1.0

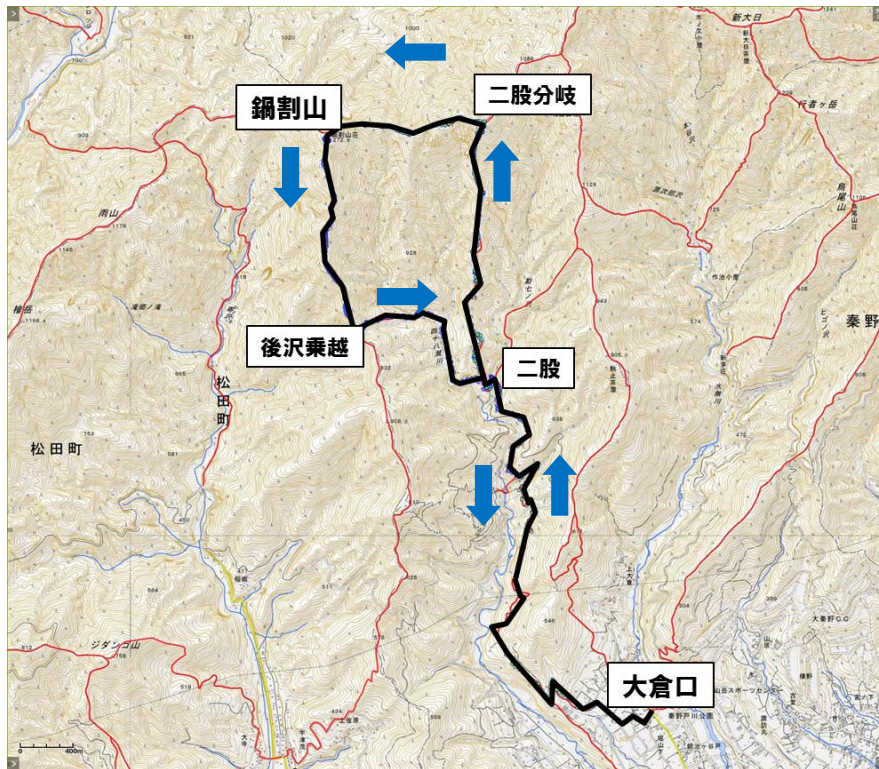
テーマ	山間部における準天頂衛星利用の有効性検証	
実証参加機関 (共同機関)	公益社団法人日本山岳ガイド協会、インフカム株式会社 NEC ソリューションイノベータ株式会社	
目的	正確な位置情報、時刻の記録を取ることで、登山計画と実績のデータを比較し、今後の登山計画の精度を上げることができ、位置情報の利用が有効であることを実証する。あわせて、災危通報の利用を実証する。	
期間	全体	2015 年 2 月 21 日 ~ 2015 年 3 月 20 日
	時間・頻度	●時間: 7 時~15 時 ●頻度: 登山の実施は 2 月 26 日(木)または 2 月 28 日(土)の 1 回
実施場所	●地名: 神奈川県秦野市、松田町、山北町 丹沢山地 ●環境: 山間部 ●その他: 実証を実施する天候条件等、特殊な条件があれば記載 (降雨、降雪を除く)	
構成 ※必要に応じて構成図等を次ページ以降に添付	●システム全体構成 別紙参照。SAMPLE の「実証システム構成」と同様	
内容 ※必要に応じて次ページ以降に添付	●実証概要 1 名は受信機とスマートフォンをペアにした 1 式およびデータ蓄積可能な受信機 1 台を、別の 1 名はデータ蓄積可能な受信機 2 台を GPS のみの設定と QZS+GPS+GRONASS の設定で保持し、規定のルートを歩行する。歩行中に 30 秒周期に災害・危機管理通報メッセージを受信する。 ●実証の確認及び評価(利用効果の定量的評価方法) ・測位結果の地図へのマッピング(国土地理院の 1/25,000 の地図) ・携帯電話等の繋がりにくい箇所での災害・危機管理通報メッセージ受信可否確認 ●確認時期 ・後処理	
受信信号	●使用する測位信号名を記載 ・GPS: L1C/A、 ・QZS: L1C/A、L1-SAIF ・その他:	
受信設備	●使用する測位信号受信機などを記載 □貸与品目/数(/) □持込品目/数(受信機 / 4台、Android 端末 / 1台)	
ソフトウェア	●測位結果確認ソフトウェア □ソフトウェア名称/概要	
実証前の要求事項	なし	
実証時の要求事項	登山実施日に、当方が準備する災危通報の配信を希望する	
実証後の要求事項	なし	
その他	なし	

別紙



■コース

大倉口 → 二股 → 二股分岐 → 鍋割山 → 後沢乗越 → 二股 → 大倉口



この地図は、国土地理院の数値地図 25000 (地図画像) を使用しました。